

小田館 生日記

昭和七年八月十一日

京四條の芝居

菅 專助

小田の結納
才藤の色直
木下蔭狭間合戦

寛政元年二月廿一日

道頓堀大西芝居

並木千柳、若竹笛菊
外一名

小田の幼君
北畑の名君
八陣守護城

文化四年九月十四日

道頓堀大西芝居

佐川藤太
中村魚眼

新作藝題

◎印は再演の分なり

西亭作詞並ニ作曲の分

藝題 上演劇場

上演年月

備考

西亭作詞並ニ作曲 豆まき

大阪文樂座

昭和拾五年貳月興行

(西亭としての處女作品)

◎西亭作詞並ニ作曲 戦陣訓

同

同 拾六年參月興行

(陸軍記念日に因み)

◎同 作詞並ニ作曲 里げしき

同

同 年四月興行

(上三卷濱千鳥
下三卷二人禿)

同 作詞並ニ作曲 海國日本魂

同

同 年五月興行

(海軍記念日に因み)

同 同 國威は振ふ

同

同 拾七年貳月興行

◎同 同 水漬く屍

同

同 年四月興行

(九軍神を偲びて)

同 同 景事義士櫻

同

同 年五月興行

同 同 土屋主税 同 同 年九月興行

(向島其角住家段
土屋屋敷之段)

同 同 出 陣 同 同 年拾月興行

(貳ヶ月續演)

同 同 同 陣 同 同 拾一月興行

(野澤松之輔改名作品)

◎西亭原作並ニ作曲 瀨川春郎 脚色 出 陣 大坂 歌舞伎座 昭和拾八年一月興行

中村富十郎襲名興行
富十郎 出演

◎西亭作詞並ニ作曲 空の軍神 偲ぶ 佛 大坂 文樂座 昭和拾八年貳月興行

(加藤軍神を偲びて)

西亭脚色並ニ作曲の分

西亭脚色並ニ作曲 忠 靈 大坂 樂座 昭和拾七年三月興行 (忠靈會の作に感激して)

食滿南北 原作曲 西亭脚色並ニ作曲 由良の湊 同 年六月興行

(橋女居問の段
折檻のの段
鶏娘のの段)

橋本關雪 原作曲 西亭脚色並ニ作曲 佐藤兄弟の妻 同 拾八年四月興行

◎古賀小尉 原作曲 西亭脚色並ニ作曲 赤道祭 同 年六月興行 (海軍省より依頼さる)

赤道神改題

西亭作曲のみの分

◎食満南北作曲
西亭 新作野崎村 大阪角座

昭和拾六年
拾一月興行
拾貳月興行

二ヶ月續演
〔中村翫雀、中村芳子〕
〔阪東鶴之助出演〕
市川小太夫出演

◎瀨川春郎作曲
西亭 忠靈 同

同 拾七年三月興行

この時、文樂座、大劇、角座と三ヶ所にて忠靈競演、何れも同じからず曲も異なる

瀨川春郎作曲
西亭 夕ざり供養 大阪中座

同 年拾月興行

〔林又一郎等出演〕
〔阪東鶴之助〕

瀨川如皐作曲
西亭 又五郎女夫狐 大阪歌舞伎座

同 拾八年一月興行

〔林又一郎、中村翫雀出演〕

◎瀨川如皐作曲
西亭 梅ヶ枝 同

同 年貳月興行

〔嵐雛助襲名興行〕
〔雛助出演〕

瀨川如皐作曲
西亭 扇獅子 大阪角座

同 年八月興行

〔實川長二郎出演〕

再上演の分

戦陣訓 東京新橋演舞場

昭和拾六年七月

東上文樂座興行

里げしき 同

同

同

新作野崎村 京都南座

同 年五月

吉右衛門一座

忠 靈 京都南座 同 拾七年五月興行 (市川小太夫出演)

出陣 京都南座 同 拾八年四月上半月 同 同月下半月 (俳優連名同じ。同時上演)

梅ヶ枝 同 同 同

水漬く屍 大阪文樂座 同 年五月興行 (演者同じ)

同 東京新橋演舞場 同 年七月 東上文樂座興行

偲ぶ佛 同 同 同

赤道祭 東京新橋演舞場 同 同 同 同 同

京都南座
名古屋御園座
京都古座
神戶松竹劇場

同 八月
同 九月